指標

診療報酬改定と緊急レセプト調査結果

常任理事　羽 田 克 己

はじめに

平成14年度の診療報酬改定の影響は極めて深刻であり、医業経営はかってない厳しいものとなっている。

北海道医師会医業経営部では、改定の影響を把握するための調査を検討していたが、日医で時期を同じくして全国的な調査を企画していることが明らかになったので、急遽、日医の調査に全面的に協力することとし、専用のファックスを仮設し、レセプト総括表の提出について会員に特段のご協力をお願いするとともに職員を督励して対応に努めた。

再三の照会にも快くご協力いただいたことから、調査の有効性が上がり、そのことが高く評価されたことをまずご報告申し上げ、改めて会員各位のご協力に感謝申し上げる次第である。

去る８月20日、青柳日医副会長は、「緊急レセプト調査」最終報告を公表したが、それによると有効調査客体は4,030で、レセプト件数は11,388,025であり、総点数、総件数、総日数のすべてについて前年同月比でマイナスとなっており、特に中小病院と有床診療所は厳しい内容となっている。以下に概況をご報告する。

１．病院

①入院：

療養型では１日当たり点数は減少しているが、１件当たり日数は増加しており、結果として１件あたり点数への影響はマイナス0.37%であった。一般では、老人の１件当たり日数の減少がマイナス1.26%とやや目立ち、１件当たり点数がマイナス1.70%となった。精神は、各指標とも大きな変化はない。

②入院外：

療養型は、１日当たり点数がマイナス3.13%、１件当たり日数マイナス1.65%となり、１件当たり点数はマイナス4.96%であった。一般も１日当たり点数マイナス1.62%、１件当たり日数マイナス1.45%で１件当たり点数はマイナス3.66%となった。特に老人のマイナスが顕著である。

③病床規模別：

すべての指標について病床規模の小さな病院ほどマイナスの影響が大きい。

病院カテゴリー別

医療機関毎の１件当たり点数、１件当たり日数などを求め、カテゴリー別に平均した

入院＜一般（含退職）、老人＞

	１件当たり点数			１件当たり日数			１日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	34,437.8	34,311.5	−0.37%	23.8	24.0	1.06%	1,472.3	1,456.8	−1.06%
一　般	35,274.4	34,708.1	−1.06%	16.0	15.8	−0.79%	2,361.5	2,346.8	−0.62%
精　神	28,024.6	28,038.1	0.05%	28.5	28.5	0.00%	986.7	987.6	0.10%

入院＜老人＞

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	35,290.5	35,085.1	−0.58%	24.7	24.8	0.38%	1,449.4	1,441.9	−0.52%
一　般	39,139.9	38,475.4	−1.70%	18.1	17.9	−1.26%	2,304.5	2,290.1	−0.62%
精　神	27,926.0	27,721.4	−0.73%	28.4	28.6	0.66%	987.6	972.9	−1.49%

＊当該月に老人の入院がなかったところは除いてある。

入院＜一般（含退職）＞

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	31,791.6	32,339.1	1.72%	20.3	20.9	3.36%	1,622.1	1,601.6	−1.26%
一　般	31,556.3	31,025.6	−1.71%	13.3	13.2	−0.39%	2,524.6	2,514.3	−0.41%
精　神	27,824.3	27,650.6	−0.62%	28.6	28.2	−1.39%	973.9	984.9	1.13%

＊当該月に一般（含退職）の入院がなかったところは除いてある。

入院外＜一般（含退職）、老人＞

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	1,577.2	1,499.0	−4.96%	2.7	2.6	−1.65%	602.5	583.7	−3.13%
一　般	1,627.1	1,567.5	−3.66%	2.1	2.1	−1.45%	790.2	777.4	−1.62%
精　神	1,637.0	1,702.1	3.97%	2.2	2.3	2.73%	707.5	709.6	0.31%

入院外＜老人＞

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	2,075.5	1,915.4	−7.72%	3.4	3.3	−3.04%	647.6	622.7	−3.84%
一　般	2,005.6	1,869.4	−6.79%	2.5	2.5	−2.08%	854.1	827.5	−3.11%
精　神	1,660.1	1,645.8	−0.86%	2.3	2.3	−2.02%	676.7	674.1	−0.39%

＊当該月に老人の外来がなかったところは除いてある。

入院外＜一般（含退職）＞

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
療　養	1,266.5	1,203.7	−4.96%	2.2	2.2	−1.86%	562.7	544.6	−3.22%
一　般	1,426.3	1,395.1	−2.19%	2.0	1.9	−2.15%	750.6	749.0	−0.21%
精　神	1,501.1	1,580.4	5.28%	2.1	2.2	3.86%	700.2	703.2	0.43%

＊当該月に一般（含退職）の外来がなかったところは除いてある。

２．診療所

①入院：

老人・一般（含退職）とも１日当たり点数が大きく減少した結果、１件当たり点数が大きく減少した。特に老人の１日当たり点数はマイナス8.33%、１件当たり点数はマイナス5.82%と落ち込みが激しい。

②入院外／院外・院内処方別：

すべての指標で院外にマイナスが強く出ている。

③入院外／診療科別：

１日当たり点数では、整形外科のマイナス6.37%が最大であり、泌尿器科（含透析）のマイナス5.32%がこれに次いでいる。１件当たり点数でも整形外科のマイナスが最大でマイナス6.52%、泌尿器科（含透析）マイナス5.47%、皮膚科マイナス5.23%、外科マイナス5.01%、内科マイナス3.16%となっている。

３．改定率の検証

①狭義の改定率の検証：

総診療実日数を固定し、１日当たり点数を係数として2001年度医療費と2002年度医療費を比較すると、病院の影響率はマイナス0.16%、診療所の影響率はマイナス1.83%になる。

総件数を固定し１件当たり点数を係数として2001年度医療費と2002年度医療費を比較すると、病院の影響率はマイナス1.20%、診療所の影響率はマイナス3.70%になる。

②広義の改定率の検証

政府予算ベースでの平成13年度の広義の改定率を１%として、４月から６月の総医療費の伸びを比較すると、緊急調査では総点数はマイナス3.86%となり、予算編成時のプラス１%の予定と比較するとマイナス4.86%もの開きがある。

以上が検証を含めた緊急調査の概要である。

おわりに

医業経営の基本的な指標は、経常収支、とりわけ医業収支であり、この健全性が極めて重要である。民間医療機関は補助金などの医業外収益がないことや医業費用の圧縮がほとんど限度に達していることなどから、医業収益、特にその中心をなす入院・外来収益の減少は医業経営を直撃することになる。経常収支が健全でなければ、外部借入金に対する支払利息、元金償還の原資の捻出もできなくなる。このような状況が続けば行き着く先は自明である。健康保険法の改正、診療報酬の改定による医療需給の誘導は医療政策の常套手段であるが、４月改定に続いて10月から始まる老人医療費の定率負担は受診抑制を誘発させ、病態の悪化と医業経営の悪化をまねくにちがいない。国民と医療機関にのみ痛みを負わせる現実無視の医療政策に対し強い憤りを感じるものである。

８月21日、中医協で入院基本料等の特定療養費化における除外規定の見直しがおこなわれ、８月23日には、手術の施設基準の運用について見直しがおこなわれた。いずれも日医の執拗な交渉の成果である。

診療所カテゴリー別

＊医療機関毎に、１件当たり点数、１件当たり日数などを求め、カテゴリー別に平均した

入院

	１件当たり点数			１件当たり日数			１日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
老　人	20,251.6	19,072.6	−5.82%	18.2	18.3	0.47%	1,601.5	1,468.1	−8.33%
一般･退職	15,069.5	14,599.8	−3.12%	12.1	12.1	0.28%	1,724.3	1,619.6	−6.08%

＊実績があったもののみ。たとえば一般（含退職）の受診はあったが老人の受診はなかったというところは、老人の平均値から除いている。

入院外

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
老　人	2,090.6	1,955.4	−6.47%	3.1	3.0	−3.50%	678.2	661.6	−2.44%
一般･退職	1,305.2	1,256.6	−3.72%	2.2	2.1	−1.93%	551.7	543.9	−1.42%

＊実績があったもののみ。たとえば一般（含退職）の受診はあったが老人の受診はなかったというところは、老人の平均値から除いている。

入院外／院外・院内処方別

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
院　外	1,391.1	1.324.0	−4.82%	2.4	2.4	−1.94%	523.7	511.1	−2.40%
院　内	1,640.9	1,581.4	−3.63%	2.5	2.4	−1.58%	640.4	633.1	−1.14%

入院外／診療科別

	1件当たり点数			1件当たり日数			1日当たり点数		
	2001	2002	増減	2001	2002	増減	2001	2002	増減
内　科	1,564.6	1,515.3	−3.16%	2.3	2.2	−2.32%	665.3	661.3	−0.59%
小 児 科	920.8	891.3	−3.20%	1.9	1.9	−2.07%	484.1	479.7	−0.91%
精 神 科	1,499.2	1,450.6	−3.24%	2.3	2.3	−3.56%	643.9	640.8	−0.48%
外　科	1,622.1	1,540.8	−5.01%	3.3	3.2	−1.22%	506.0	490.9	−2.99%
整形外科	1,349.5	1,261.5	−6.52%	4.0	4.1	.092%	352.3	329.9	−6.37%
産婦人科	1,041.8	997.6	−4.24%	2.0	2.0	−2.44%	525.6	521.5	−0.79%
眼　科	730.4	703.8	−3.64%	1.4	1.4	−2.11%	535.4	527.3	−1.51%
耳鼻咽喉科	842.1	811.9	−3.58%	2.6	2.5	−1.63%	350.1	345.8	−1.22%
皮 膚 科	635.5	602.3	−5.23%	1.6	1.6	−2.93%	398.9	389.5	−2.38%
*泌尿器科	8,760.0	8,280.6	−5.47%	3.7	3.7	−0.67%	1,664.5	1,575.9	−5.32%
そ の 他	2,374.4	2,263.1	−4.68%	2.5	2.4	−2.55%	773.8	753.9	−2.57%

＊泌尿器科は透析を含む